

# 写真を使って 保育を「もっと伝える」 ポイント

写真を使った保育の発信の際、伝える力を  
グンと高めるためのちょっとしたポイントをご紹介します。



## ねらいや見通しを明確にして 保育環境をつくることが 「撮りたい場面」を生み出す

保育の内容や子どもの育ちが伝わりやすい写真を撮るためには、  
どのようなポイントを心がけるとよいのでしょうか。  
ベネッセ教育総合研究所の磯部頼子顧問が解説します。

ベネッセ教育総合研究所顧問 **磯部頼子**



### 「撮る」「伝える」場面で 心がけておきたいこと

保育をより伝えられる写真を撮るためには、まず、保育者も子どもも心を弾ませているような「楽しい場面」に出合う必要があります。保育者が明確なねらいや見通しをもって環境を構成し、それを子どもが心を弾ませて取り入れたときに、「写真に残したい」と思えるよい場面が生まれやすいと思います。

写真で伝えるということは、「撮

る」ことと、「(掲示などで) 伝える」ことに分けられます。

まず、「撮る」ことで心がけたいのが、「かっこよく撮ろう」「かわいく撮ろう」などと思わず、自然な姿を撮影することです。よい表情は、笑顔だけではなく、驚きや不思議や感動など、さまざまな場面で見られます。「何をしているか」が伝わり、変化や経過が見えてくる写真は、保育のねらいや内容が伝わりやすいと思います。

「伝える」ことで工夫していただ

きたいのが、写真に添えるコメントです。単なる状況説明だけでなく、子どもや保育者の思いを表現するようにしましょう。全てにつける必要はありませんが、温かみを感じられるコメントを書くセンスをみがくといいですね。

記録にはビデオなどの方法もありますが、写真にはじっと見ることによって想像力が膨らみ、雰囲気豊かに伝わるなど、静止画ならではの良さがあります。ぜひ効果的な情報発信のツールのひとつにしてください。

### 事例 1

## 壁新聞形式の「ボード・フォリオ」で 子どもに寄り添う 保育の姿勢を伝える

和光保育園(千葉県・私立)

長年、保護者への保育の伝え方を工夫してきた和光保育園が、3年前に始めたのが、写真とコメントで構成される壁新聞のような形式の「ボード・フォリオ」です。日常の保育についてわかりやすく伝えることで、保護者が子どもの気持ちに寄り添い、響き合うきっかけにしてほしいと願っています。

### ひと目でわかる写真で 出来事をその日のうちに伝える

和光保育園園長の鈴木真廣先生は、30年ほど前から、保護者への保育の伝え方を工夫し続けています。きっかけは、保護者が書く卒園文集の内容が行事の思い出ばかりで、日常の保育への理解が深まっていないと感じたことでした。

25年ほど前から各クラスで毎日続けているのが「連絡ボード」です。これはその日の出来事や子どもの姿をB4用紙1枚程度に手書きの文章で書いて掲示するというものです。

さらにデジカメやプリンターなどの機器がそろった3年前から、「ボード・フォリオ」(学びの物語ファイルを指す「ポート・フォリオ」という単語をヒントに命名)という単語をヒントに命名)という掲示物の制作を始めました。

ボード・フォリオは、写真とコメントを組み合わせた壁新聞のような形式です(写真1・2)。これを保護者の目に入りやすいクラスの入りの掲示板上に掲示します。

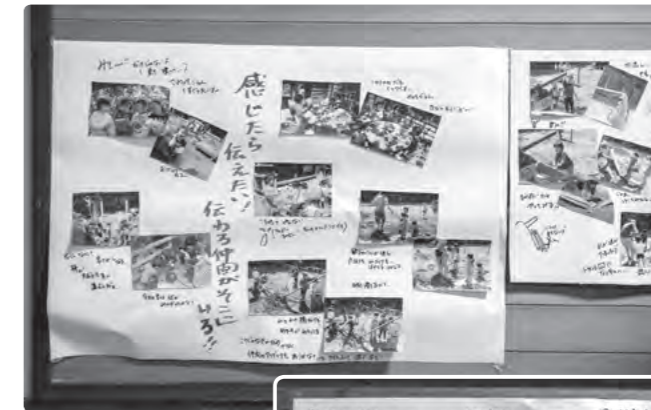


写真1  
幼児クラスのボード・フォリオ。子どもたちの試行錯誤の様子や気持ちを代弁するコメントによって、保育がいきいきと伝わります。

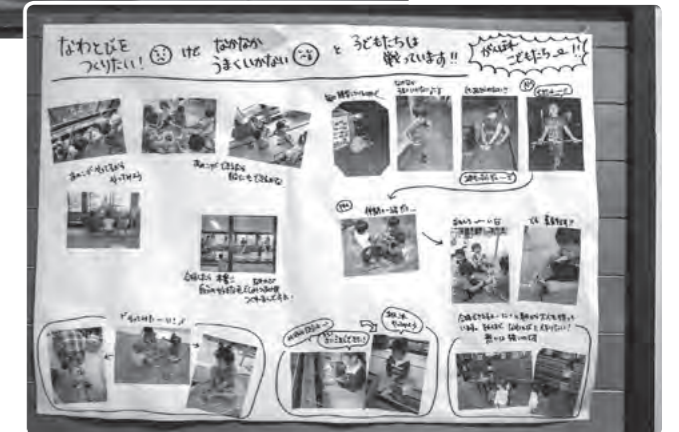


写真2

ボード・フォリオは、子どもの学びや成長、変化など、保護者に伝えたいことがあるときに不定期に制作します。クラスによって異なりますが、0~1歳児クラスは、月2~3回制作します。子どもの午睡中に作成し、写真の整理から完成まで、1時間半程度を要します。

ボード・フォリオのよさについて、鈴木先生は次のように話します。

「『少しでも早く伝えたい』というホットな情報や感動をその日のうちに伝えるのに適した方法です。文章や言葉ではうまく伝わらないことでも、写真を使えば、『百聞は一



見にしからず』ということがあります」

### 遊びの中での成長と 保育者の援助が明確に伝わる

ボード・フォリオを通し、具体的にはどのようなことを伝えているのでしょうか。

一例として、1歳の女の子の遊びの様子を取り上げたボード・フォリオを紹介しましょう（写真3）。

昼食前、手を洗いに行く時間に、その女の子はクラスにある椅子にぬいぐるみを座らせる遊びを始めました。一脚ずつ、ぬいぐるみを並べていく姿を見て、「おもしろい遊びを

始めたな」と思った担任の秋田美幸先生は、写真を撮りながら見守ることにしました。

「ほかの子どもが手を洗うために部屋から出たので、ひとりで遊びに集中するという状況が生まれました。それまであまり見られなかった『1対1対応』の表れに成長を感じました」

ぬいぐるみを並べ終えた頃を見計らい、秋田先生が「みんな座ったね」「手を洗ったお友だちが帰ってくるから、お引越しようか」と声をかけると、満足そうな表情で片付けをして手を洗いに行きました。

「その子は『イヤイヤ期』に入ったばかりということもあり、家庭では食事前に手を洗ってもらうのも苦労していたようでした。ボード・フォリオを見た母親は、満足するまで遊んだあとに率先して次の行動に移ることを知り、『家での声のかけ方を考え直してみたい』と話していました」（秋田先生）

この女の子の例のように、保育者が予期しないときに保護者に伝えた

い姿が表れることも多いため、デジカメは常に保育室に置かれています。また、紹介する子どもが偏らないように、満遍なく撮ることも心がけています。

### コメントを工夫して 子どもの気持ちを代弁

ボード・フォリオでは、コメントもその場面の状況や雰囲気伝える大切な要素です。

「主に、子どもの気持ちを書くようにしています。特に乳児は言葉が出せないため、どのように感じているかを代弁するようにしています」（秋田先生）

コメントを通して発達過程について解説することもあります。例えば、積み木をする子どもの写真に、「慎重に崩れないように調整してのせるのは、すごいことなんですよ」とコメントを書き添え、遊びの意味を理解してもらえるようにしています。

ほかにボード・フォリオでは、その時期に教えている手遊び歌などを写真とともに伝え、子どもと保護者が一緒に遊べるようにしています（写真4）。

しかし、保育の合間を縫ってボード・フォリオや連絡ボードを作成するために要する時間や労力は小さくありません。そこで、少しでも保育者の負担を軽減するために、毎日やりとりしていた連絡帳を廃止し、代わりに保護者が主体となって子どもの様子を記録する「子育てノート」に切り替えました。子育てノートは、毎日提出してもらい、育児の記録を園に見せてもらうという位置づけで保育者がコメントを返すこともあり

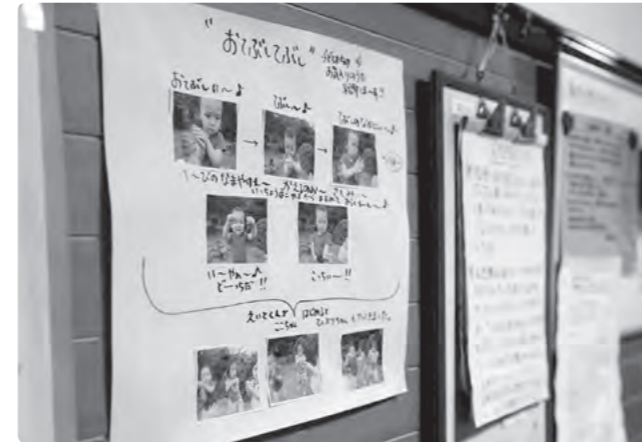


写真4  
手遊び歌を紹介するボード・フォリオ。写真だと遊びをよりわかりやすく伝えられます。

ます。

また、ボード・フォリオは、遊びの展開を見通して伝える内容をあらかじめ想定しておく、レイアウトやコメント作成などに時間がかからず、労力が軽減されると言います。

### 写真をきっかけに 子ども自身が保護者に 遊びの様子を伝え始めた

ボード・フォリオは、保護者からどのように受け止められているのでしょうか。

「とても楽しみにしてくださる方が多いです。成長がわかりやすく伝わって、子どもの気持ちに寄り添い、響き合うきっかけになっているのではないかと思います」（鈴木先生）

子どもは連絡ボードの文字は読めませんが、写真はわかるため、ボード・フォリオのストーリーテラーとなって保護者に遊びの様子を必死に伝える姿が見られるようになりました。

「ボード・フォリオを説明する子どもから、『あのとき、こうすればよかった』といったつぶやきが聞かれるなど、子ども自身が遊びを振り

返る機会になっているのは、思いがけない効果です」（鈴木先生）

### 制作プロセスが 園内研修としても機能

ボード・フォリオの制作は、保育者が保育を振り返るきっかけにもなっています。写真を切り貼りしながら、「こんなことがあったよね」「保

護者にも伝えたいよね」などと振り返ったり共有したりすることで、園内研修のような効果があると言います。ボード・フォリオは、子どもの成長や保護者の理解に加え、保育の質の向上ももたらしています。

長年、情報発信の工夫を続けてきた鈴木先生に、保護者に保育を伝えるうえでのポイントをうかがいました。

「園だよりやクラスだよりなどは、『～します』『～しました』といった連絡や報告が多くなりがちだと思います。それを子どもの気持ちに寄り添い、子どもの姿や心の動きに保育者のまなざしを添えて語るようにしていくとよいのではないのでしょうか。その中で写真を上手に活用すると、より伝わりやすくなると思います」



園長 鈴木眞廣先生

0・1歳担当  
秋田美幸先生



写真3  
ぬいぐるみを椅子に並べて遊ぶ園児。この写真が、保護者にとって子どもの育ちを理解し、家庭での声かけを見直すきっかけになりました。

### 写真撮影 ここがポイント！

- 撮影前 遊びの展開を見通し、伝える内容を想定することで、効率よい制作につなげる
- 撮影中 おもしろいシーンや新たに見られた成長を中心に撮影。予期しない場面に備え、デジカメは常に準備
- 撮影後 コメントは、子どもの気持ちの代弁や、育ちの姿の解説を中心に書く

### 和光保育園

◎1957年開園。保育理念のベースは、倉橋惣三の「すべてに精神の発達に、『やってみること』『自分が失敗して見ること』からできていく。陶芸用の窯「わこう窯」を園庭に設置するなどして子どもの体験活動を充実させている。

園長 鈴木眞廣先生  
所在地 千葉県富津市小久保2209  
園児数 104人(0～5歳児)





事例 2

# 園だからこそ見せる姿を写真でとらえ 「個人アルバム」にまとめて 育ちを伝える

うた  
鳩の森愛の詩保育園 (神奈川県・私立)

「日中の元気な姿を知ってほしい」という思いから、ひとり1冊の個人アルバムを毎月制作し、子どもの育ちを保護者に伝えている鳩の森愛の詩保育園。

写真を撮影してセレクトする過程は、保育を振り返る貴重な機会にもなっています。

## 各月の印象的な場面を アルバムに整理

桜や梅、ぶどう、びわなどの木々が植えられ、四季折々の表情を見せる鳩の森愛の詩保育園。自然豊かな環境でのびのびと育つ子どもの姿を保護者に伝えるために、開園した29年前から写真を有効活用しています。

写真で育ちを伝える取り組みは、園日より、連絡帳への貼付、お誕生日カード、壁面掲示などさまざまですが、なかでも特徴的なのが「個人アルバム」です。

個人アルバムはひとり1冊を用意し、1カ月につき10枚程度の写真を選んで見開き(左右2ページ)

に貼ります。写真は基本的にLサイズですが、各月の最も印象深い1枚は2Lサイズに引き伸ばします。保護者にこまめに子どもの成長を感じてもらえるように、1カ月単位で渡しています。現像代などにかかる費用は、保護者負担です(月600円程度)。

## 保育のねらいを確認し 撮りたい場面を絞る

個人アルバムは、どのような思いから生まれたのでしょうか。副園長の池田佳代子先生にお話をうかがいました。

「子どもは朝は眠く、泣いてしまったり、お迎え時は遊び疲れていることもあったりと、保護者が日中の元気な姿を見る機会には実はあまりありません。そこで、こんなによく遊び、食べ、成長しているということを伝えたいと考え、個人アルバムを制作しています」

子どもの育ちが表れた写真を撮影するために、先生がたはいくつかのポイントを共有しています。

まず、各月の保育のねらいをよく確認し、「保護者に伝えたい子ども

副園長  
池田佳代子先生



おみや  
近江屋希先生

の育ち」を明確にすることです。常に保育のねらいを意識することで、シャッターを押すタイミングがおのずと見えてきます。一方、保育者の予想を超えた姿が見られたときも、シャッターチャンスととらえています。

## 集団の中だからこそ見せる 喜怒哀楽を伝える

いきいきとした表情や雰囲気をとらえるために気をつけていることもあります。近江屋希先生はこのように話します

「子どもの目の高さで撮ると、自然な写真になります。また、かわいい表情の写真は、家庭で撮られてい



個人アルバムは成長記録として喜ばれています。



家庭では見せない育ちの姿を写真で伝えることで、園の活動や理念への理解も深めてもらえます。

ると思いますので、集団の中だからこそ見せる真剣な表情、ときには泣いている姿など、園での喜怒哀楽を伝えたいと考えています」

育ちを感じられる場面はいつ訪れるかわかりませんから、保育者は常にウエストポーチにデジカメを入れています。

撮影した写真はパソコンでセレクトし、週1回、現像します。こまめに現像すると、撮影した子どもに偏りがあることに気づいたり、保育の内容を具体的に振り返る機会になったりするよさがあります。

写真をアルバムに貼る際は、コメントはあえてつけません。

「子どもが写真について説明したり、写真から保護者自身が想像したりすることで、家族の会話が広がるきっかけになるからです。また作成にかかる保育者の負担も軽減できます」(近江屋先生)

## 写真の撮影・選別のプロセスが 保育の振り返りにつながる

保護者は、個人アルバムをどのよ

うに評価しているのでしょうか。

「アルバムをやめてデジタルデータをお渡しするという案が出たことがあります。『アルバムを続けてほしい』という声が多く寄せられました。『アルバムだからこそ祖父母

や家族も一緒に見られて会話が弾む』『子どもがよい表情で過ごしているのがわかって安心』『子どもの友だち関係もよくわかる』といった感想をいただいています」(池田先生)

特に新入園児の日中の様子がわかることで安心する保護者が多いと言います。

「子どもの育ちを見取って撮影したり、写真を選んだりする過程は、保育を見つめ直すきっかけとなり、保育者の成長をもたらしています。毎月、全員分のアルバムを作るには、相応の時間や労力がかかります。それでも、保護者の要望が大きいこと、そして保育の質の向上につながることから、これからも続けていく方針です」(池田先生)

## 写真撮影 ここがポイント!

**撮影前** 各月の保育のねらいを職員で確認・共有し、「伝えたい育ち」を明確にする

**撮影中** 集団だからこそ、園だからこそ見せる喜怒哀楽を重点的に撮る

**撮影後** 週1回などこまめに現像することで、保育の振り返りの機会にもする

## 鳩の森愛の詩保育園

◎社会福祉法人はとの会が横浜市内に運営する4保育園のひとつ。子どもたちを真ん中に、保育者と保護者が手をつなぎ合い、成長し合うことを「共育で共育ち」と呼んで大切にしている。

園長 瀬沼静子先生  
所在地 神奈川県横浜市泉区弥生台1丁目8番  
園児数 定員100人(0~5歳児)

